

つなぐ



<設立状況(31.2.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 26(28地区)
 まちづくり協議会準備会 2(2地区)

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

Vol. 23



H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>



興居島まち協×松山北高校

活動がつかないだ高校生と住民の絆



今年度のまちづくり提案制度で採択された「松山北高校生徒会地域おこし Working Team」が11月10日(土)「ごしま検定」を実施しました。ごしま検定とは、興居島の魅力を島内、島外含め多くの人に知っていただくための検定です。今後、上級検定合格者には「ごごしまイスター」として、島の文化や風土の保存、継承、島のイベントの広報などを務めてもらうことが期待されています。

また、この検定を作成するにあたり、高校生たちは何度も興居島に通う中で、昨年の豪雨災害で被災した興居島の実情を知りました。そこで「自分たちで出来ることはないか」と考え、地元呼びかけのところで、島四国八十八ヶ所の調査や清掃を実施することになりました。

ボランティアに取り組む高校生たちへ感謝の気持ちを表すため、12月21日(金)ごごしま検定の表彰式に併せて興居島地区まちづくり協議会から高校生たちに感謝状が贈呈されました。

検定の合格者とボランティア活動に協力してくれた北高生、興居島まち協の役員さんで記念撮影📷



まちづくり協議会交流会／ 地域力パワーアップ大会

昨年7月の豪雨で中止になった地域力パワーアップ大会も併せて開催しました。それぞれの事例発表を踏まえて、防災・減災を中心にさまざまな意見交換が行われました。

◆雄郡地区まちづくり協議会 「実践的な防災訓練」



日中に行うことが多い防災訓練ですが、必ずしも日中に災害が起こるとは限らないため、夜間に避難訓練を実施しました。避難訓練では避難所運営ゲーム「HUG」を参加者が体験し、避難所運営の大変さやルール決めの大切さなどを実感しました。

それ以外にも、多くの人が避難訓練に参加できるよう、地区の運動会の昼休憩を利用して避難訓練を実施したり、避難所に指定されている小学校でそれぞれ同日に避難訓練を実施したりと、工夫を凝らした訓練を行っています。



◆石井地区まちづくり協議会 「台風18号を経験して見えてきたこと」



松山市で最大の人口規模になっており、まとまった行動が難しいため、自主防災組織の会長がまちづくり協議会の生活安全部長を兼務しています。

各避難所を中心に、関係する町内会が協働できる方法を模索している途中に台風18号が襲来。この台風により、古川町では避難指示が出されました。

この経験によって、町内だけでなくさまざまな機関との連携が必要と感じ、地域や企業、学校、行政などの関係機関を集めた机上の防災訓練を実施し、連携を強めました。



地域づくり支援セミナー

全4回の講座を行い、グループワークや事業体験などを通じて、地域でできる高齢者のための取り組みを考えました。

今回のテーマは…
「高齢者のための
地域づくり」



第1回



1回目は、市民参画まちづくり課から「地域におけるまちづくり」を紹介した後、三津浜地区まちづくり協議会の石崎智行さんより「高齢者のつどい」についてご講演いただきました。引きこもりがちな高齢者をいかに外へ連れ出し、交流を深めてもらうかの工夫が凝らされていました。

第2回



2回目は、愛媛大学の牛山先生から、他地域のアクティビニアや愛媛大学の取り組みについてご講演いただきました。大学生と地域の高齢者が考えた歌とダンスの披露では、受講者も歌詞を見ながら口ずさんでいました。後半は、介護保険課と松山市社会福祉協議会より地域包括ケアシステムやサロン活動の説明がありました。

第3回



3回目は、愛媛大学の前田先生による「助け合い体験ゲーム」を使ったワークショップを行いました。3グループに分かれ、カードに書かれた助け合いメニューから自分がしてほしいことを3つ選び、グループ内のメンバーとマッチングさせました。意外なマッチング結果があったのか、各グループで盛り上がりつつありました。

・孤立死
者に対する詐欺的商法
・ゴミ屋敷の解消
の支援
・付が、病気の支援
・困り事(部屋の掃除、電球換え、
分別、粗大ゴミ出し、庭の草取り、
「づくり」など)支援
・の要配慮者への援護-寄り添い

◆まつやま防火防災ものづくり隊 (松山工業高校) 「みんなで防火防災ものづくり」



この取り組みは今年度のまちづくり提案制度で採択され、地域の防火・防災活動に参加し、地域の人と交流して社会とつながりを持ちたい、災害時に役立つ知識を深めたい、という思いで活動を進めています。

地区の防災訓練や防火防災の啓発活動に参加したり、普段は手さげバッグとして使え、災害時には防災ずきんに早変わりする防災バッグや着衣着火を防止する防火エプロンなどを作製したりしています。これらの防災グッズは地区の防災訓練などで展示され、地域の人からも好評です。



◆桑原地区まちづくり協議会 「まちづくり女子会」



各まちづくり協議会で活躍する女性が集まる「まちづくり女子会」を一昨年からは実施。桑原地区でも実施しようと親睦会を通じて「くわばらジェンヌ」を結成し、現在では20代～70代の幅広い年齢層で構成されています。

「くわばらジェンヌ」では、さまざまな意見を自由に出し合っています。その中で昨年は「でらうま食堂」のスタッフ不足が課題にあがり、婦人会や民生委員など他団体から協力を得て解決につながりました。今後も、女子会を通じて各種団体の連携が強まることが期待されています。



第4回



最終回では、第1回で講義のあった三津浜地区まちづくり協議会主催の「高齢者のつどい」を実際に受講生のみなさんに体験しました。チーム対抗クイズや音楽療法士によるクリスマスコンサート、茶話会などで地区の人と親睦を深めながら、運営スタッフが連携した事業を学ぶことができました。



最後は受講生みんなで記念撮影📷



五明の里 生活博物館展 in 坂の上の雲ミュージアム

昨年度好評だった「五明の里 生活博物館展」が今年度も坂の上の雲ミュージアム2階ホールで開催されました。今回は「希望のタネ」をテーマとし、五明地区まちづくり協議会がこれまでに蒔いたタネ（活動）が芽吹き始めた様子が表されました。希望のタネのオブジェ以外にも、地域住民が作成した作品など、たくさんのお宝が展示されました。

12月24日（月）はクリスマス・イブということで、オカリナとコーラスのクリスマスステージイベントが行われました。会場には60名を超える人が訪れ、懐かしい楽曲やクリスマスソングを観客も一緒に口ずさんでいました。クリスマス企画以外にもイベントが多数開催され、五明地区内外の人にも地区の魅力をアピールすることができました。



オカリナの演奏とコーラス隊のコーラボもありました♪



会場には地元住民の作品が数多く展示されています😊

☕潮見地区・久枝地区まちづくり協議会交流会☕

近隣のまちづくり協議会で活動内容の共有や情報交換をして協議会同士の交流を深めようと、12月2日（日）潮見地区まちづくり協議会と久枝地区まちづくり協議会が交流会を開催しました。

お互いの活動報告をした後の質疑応答では、組織の運営や構成団体との連携などについて活発な意見交換が行われました。今回の交流会をきっかけに、それぞれの協議会が連携した活動が増えることを期待します。

他の協議会でも近隣地区のまちづくり協議会と交流会をすると新たな発見やつながりが生まれるかもしれません。



第21回 まちづくりで輝く人 地域で活躍している人を紹介します

興居島地区まちづくり協議会

事務局長

林 耕一 さん



♪経歴・趣味♪

以前はスポーツや読書が好きでしたが、今は柑橘づくりを楽しんでいます😊

今回の表紙を飾った興居島地区まちづくり協議会で活躍されている林耕一さんを紹介いたします。

【興居島地区はどのようなところですか?】
県内でも有数の柑橘産地で自然豊かな島です。島の無形民俗文化財の「船踊り」や歴史ある「島四国八十八ヶ所」など伝統文化も多く、さらには美しい景色など魅力の多い癒しの島です。

【まち協でどのような活動に取り組まれていますか?】
インシシが増え、柑橘栽培に深刻な被害が出ており、駆除対応をしました。さらに、7月の豪雨災害被害対策として、今回の表紙でも取り上げられています。松山北高生の協力によって島四国八十八ヶ所の状況調査や清掃を実施しました。

【まち協で活動して良かったことを教えてください。】
今までは過疎化や高齢化が進むことを心配するだけでしたが、より良い島になるよう島民が行動を実践する場や機会が得られてよかったです。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

「みかんと伝統文化かおる豊かな「島」を将来像とするまちづくり計画を策定し、組織づくりもできてきたので、それを背伸びすることなく実践していきます。また、島の若い力の協力が得られるような対策も講じたいです。